

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

社会的存在意義

樹とともに、人と暮らしをつなぎ、はぐくみ、彩りある未来をつくる

売上高
3,000億円

営業利益
75億円

親会社株主に帰属する
45億円

ROE
6.0%超

2 中長期の経営戦略

1. 超・新築

新築住宅市場縮小の中、国産材活用と取り扱い強化を推進。住宅ストックビジネス拡大により収益基盤の安定化を図る

3. 超・領域

国産材のコンポーネント展開により、付加価値の高い木質マテリアルメーカーを目指す。木造建築業界の流通プラットフォーム構築

2. 超・物流

ZEH化加速に対応し、エネルギー関連商品を含めトータル提案販売強化。全国物流拠点活用で建築現場のラストワンマイル機能を発揮

4. 主体的な風土の確立

エンゲージメント向上、人材戦略強化、健康経営推進、DE&I推進により競争力ある組織文化を構築

3 対処すべき課題

① 新設住宅着工戸数の長期的減少

- ・ 2024年は15年ぶりに80万戸を割り込む
- ・ 地方圏で高い下落率（東北・四国：2015年比30%水準）
- ・ 人口減少や世帯構成の変化への対応が急務

② 経営環境の急速な変化への対応

- ・ 金利上昇や貿易摩擦の激化
- ・ 輸入材動向の不透明感と海外環境規制強化
- ・ マンション価格高騰と建築費・人件費上昇

③ 脱炭素化と規制対応の強化

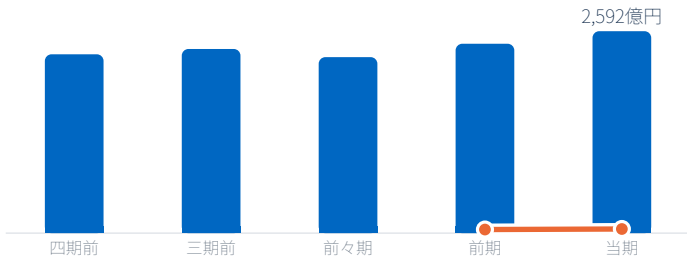
- ・ 2050年カーボンニュートラル目標の実現
- ・ 2030年度温室効果ガス46%削減（2013年度比）
- ・ 法改正（4号特例縮小・省エネ基準適合義務化）への対応

面で使えるポイント

- ・ 新設住宅着工戸数が15年ぶりに80万戸割れした環境で、既存住宅流通や非住宅市場への事業転換を推進している点に注目
- ・ 中期経営計画Road to 2030で売上高3,000億円達成目指し、超・新築、超・物流…
- ・ カーボンニュートラルと国産木材活用による環境価値向上で、経済・社会・環境価値の統合を実現する企業姿勢

証券コード 8089

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,592億円営業利益率
2.1%財務健康度
22点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

卸売業内 157位/282社

平均年齢
44.3歳

卸売業内 78位/283社

平均勤続
18.2年

卸売業内 21位/282社

女性管理職
4.2%

卸売業内 141位/209社

男性育休
38.9%

卸売業内 155位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ナイス (8089) : IRwith(IR情報) [Nic

